



佐賀市指定 高伝寺所蔵 大涅槃図(部分)

九州国立博物館国際シンポジウム

巨大掛軸をめぐる文化交流 - 祈りのかたち 日本と韓国 -

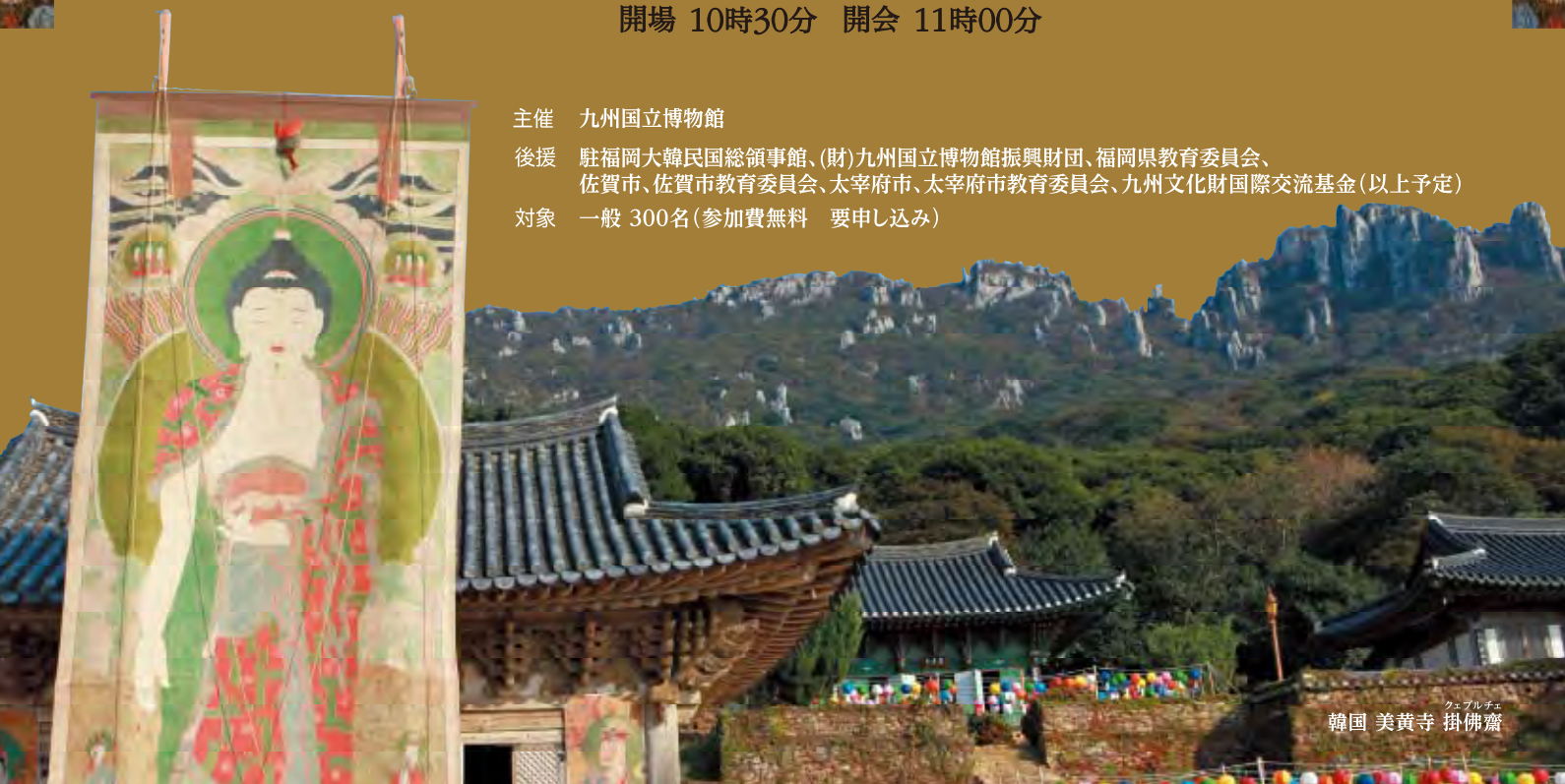
平成 22年3月14日(日) 九州国立博物館 1階 ミュージアムホール

開場 10時30分 開会 11時00分

主催 九州国立博物館

後援 駐福岡大韓民国総領事館、(財)九州国立博物館振興財団、福岡県教育委員会、
佐賀市、佐賀市教育委員会、太宰府市、太宰府市教育委員会、九州文化財国際交流基金(以上予定)

対象 一般 300名(参加費無料 要申し込み)



巨大掛軸をめぐる文化交流

- 祈りのかたち 日本と韓国 -

九州国立博物館にある文化財保存修復施設では、平成20年から2ヶ年をかけて佐賀市指定・高伝寺所蔵の大涅槃図の修理を実施しました。この涅槃図は縦15.2m、横6.1mという巨大なもので、国内最大級といえます。

現在の日本で大きな仏画を掛けることは、京都の東福寺や本法寺、真如堂、奈良の長谷寺などにその例がありますが、そう多くはありません。これに比べて、韓国では、掛佛(ケブル)という巨大な仏画を寺院境内の屋外に掛けて法会を行うことが広く行われています。このような大仏画を用いる法会は巨大なタンカを用いるチベットなどでも行われ、仏教儀礼の源流を考える上でも興味深い事例です。

今回のシンポジウムでは、日本及び韓国における巨大な仏画の用いられ方についてご紹介すると共に佐賀・高伝寺所蔵の大涅槃図の修理をはじめとする、日韓の仏画の修理に関する最新事例を報告いたします。

巨大仏画をとらえて、日韓文化の共通点と相違点について改めて考える機会にしたいと考えます。

韓国 美貴寺 掛佛齋

佐賀市指定 高伝寺所蔵 大涅槃図



申し込み方法

申込者本人の①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号等を明記のうえ、ハガキ・FAX・E-mailのいずれかにより、お申し込みください。先着順で300名様に入場整理券を郵送いたします。(定員になり次第締め切ります。)

申し込み先・お問い合わせ先

国際シンポジウム事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34
住友生命福岡ビル(株)西広内
TEL.092-717-1681
平日 10:00~18:00(12:00~13:00を除く)
FAX.092-717-1682
E-mail kyuhaku@nishiko.co.jp

交通のご案内



駐車場(有料)に限りがあります。ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

プログラム 同時通訳あり

開会行事 11:00

発表1

「日本における巨大掛軸について」 11:15 ~ 11:45 (30分)

伊藤 信二 九州国立博物館企画課 特別展室長

発表2

「韓国の仏教儀式と掛佛」 11:45 ~ 12:15 (30分)

鄭 明熙 氏 韓国・国立中央博物館 学芸研究士

休憩 12:15 ~ 13:45

※12:45 ~ 13:30 エントランスホール大涅槃図前にて高伝寺主催の法要が行われます。

発表3

「高伝寺所蔵 大涅槃図の修理について」 13:45 ~ 14:15 (30分)

君嶋 隆幸 氏 国宝修理装演師連盟 九州支部 技師長

発表4

「韓国における掛佛の装こうと修理について」 14:15 ~ 14:45 (30分)

朴 智善 氏 韓国・龍仁大学校 教授

討議 15:00 ~ 16:00 (60分)

コーディネーター;

藤田 励夫 九州国立博物館博物館科学課 保存修復室長

パネリスト;

伊藤 信二 九州国立博物館企画課 特別展室長

鄭 明熙 氏 韓国・国立中央博物館 学芸研究士

君嶋 隆幸 氏 国宝修理装演師連盟 九州支部 技師長

朴 智善 氏 韓国・龍仁大学校 教授

質疑応答 16:00 ~ 16:30 (30分)

閉会挨拶 16:35

国際シンポジウム
参加申込用紙 FAX専用

FAX
092-717-1682

住所	(〒 -)		
ふりがな			
氏名		年齢	
電話番号		FAX番号	